

## ごあいさつ



本市は、大正5年に市制を施行して以来、西三河の中心都市として発展を続け、平成15年に中核市に移行しました。平成18年には豊かな自然を擁する額田町との合併により、自然環境保全の重要性が高まっております。しかし、時代の変遷に伴い、山林ではその荒廃による保水力の低下、在来動植物の絶滅危惧、市街地においても大気汚染、騒音、振動、水質汚濁の問題が深刻化しております。特に国道1号の沿線における大気汚染に関しては、現在においても影響の大きい地域が多く、早急に改善を図るべき状況にあると言えます。

こうした自然環境を含めた社会的状況の変化の中、平成20年10月、自然環境の保全及び創出を目的に、「健全な生態系の確保」「自然とのふれあいの推進」「市民協働による推進」「保全体制の整備」の4つの柱からなる岡崎市自然環境保全条例を施行しました。今後とも自然環境保全や希少野生動植物種保護の分野において、市民の皆様や事業者の方々にご配慮、ご協力を賜りたいと存じます。

さらに、平成21年3月、環境への負荷が少なく持続的な発展が可能な社会を市民の皆様と共に実現するために、岡崎市環境基本計画を改訂いたしました。

改訂にあたっては、市民・事業者・行政の協働組織である「環境まちづくり市民会議」により、行政主導ではなく市民の目線に立って様々なプロジェクトが策定されました。このプロジェクトでは5つの環境目標の達成を目指し、「自然」「ライフスタイル」「交通」の3つの分野でそれぞれのビジョンを示し、その実現のために具体的な取り組みを実施していきます。

今後も市民・事業者・行政がパートナーシップを形成しながら「自然とふれあい、魅力的な自由時間を過ごせる『環境共生都市 岡崎』」の実現にむけて諸施策を推進してまいりますので、ご理解とご協力、さらには積極的なご参加をいただきますようお願いいたします。

本年度も本市の環境に関する現状及び諸施策を「白書」としてまとめました。環境の保全や創造に向けた取り組みを進めていただくにあたり、少しでも活用していただければ、幸いに存じます。

平成21年11月

岡崎市長 **柴田 紘一**

# もくじ

## 巻頭特集

岡崎市環境基本計画の改訂	1
レジ袋有料化（無料配布中止）制度	5
鳥川ホテルの里湧水群	7
健全な水環境を目指して	9
おかざき水とみどりの森の駅事業	11
生き物豊かなまちを未来につなぐために	13
岡崎市一般廃棄物中間処理施設（ごみ処理施設）建設事業	15

## 環境目標 1 水と緑豊かな自然とふれあえるまちに

行動 1 豊かな自然を守り、育てる	17
行動 2 身近な自然を育てる	21

## 環境目標 2 安全で健康な暮らしができるまちに

公害の現況	
1 大気汚染	23
2 水質汚濁	25
3 土壌汚染	28
4 ダイオキシン類	
5 騒音	30
6 悪臭	
7 地盤沈下	31
8 交通公害	32
行動 3 きれいな川を守る	37
行動 4 交通公害対策を推進する	40
行動 5 事業所の環境対策を推進する	43
行動 6 近隣公害対策を推進する	49

## 環境目標 3 歴史や文化を育む風格あるまちに

行動 7 歴史や文化を守り、育てる	50
行動 8 まちの良好な景観をつくる	53

## 環境目標 4 地球環境に配慮するまちに

本市のごみ事情	56
行動 9 ごみ減量とリサイクルを推進する	57
行動 10 地球温暖化を防止する	68
岡崎市役所の取組と効果	73

## 環境目標 5 環境を考え実践するまちに

## 資料編

